

# 赤十字 NEWS

http://www.jrc.or.jp

NOVEMBER 2018

NO.942

11

平成30年11月1日(毎月1日発行)  
赤十字新聞 第942号  
昭和24年9月30日 第三種郵便物認可

## 支援の気持ちに 大きな力に

インドネシア・スラウェシ島地震



© Indonesian Red Cross Society (PMI)

大小合わせて約1万4600の島々からなる東南アジアの国、インドネシア。

9月28日、マグニチュード7.5の大地震が、

その島国の中部に位置するスラウェシ島を襲いました。

津波や建物の崩落により、街は壊滅的な状態に。

死者2105人・行方不明者は680人以上(10月16日現在)。

日赤は地震発生直後からの職員を派遣、

1000万円の緊急資金援助を行うなど、支援を続けています。

### CONTENTS

#### FEATURE\_\_2・3

笑顔が  
いっぱいの  
日赤乳児院

#### SPECIAL TOPICS\_\_4・5

「西郷どん」と日本赤十字社  
NHK海外たすけあい

#### AREA NEWS\_\_6・7

京都/富山/神奈川/近畿/  
新潟/青森/全国  
健康豆知識「肩こり」

#### WORLD NEWS\_\_8

インドネシア・スラウェシ島地震  
大地震・津波・土砂崩れで、多くの  
家族が離れ離れに…



赤十字新聞 編集・発行/日本赤十字社 広報室  
〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3  
TEL: 03-3438-1311  
一部 20円  
赤十字新聞の購読料は会費に含まれています。

人間を救うのは、人間だ。

 **日本赤十字社**  
Japanese Red Cross Society



ぬく  
愛と温もり  
で育てたい

「おいしいね」「もっと?」といった笑顔の声掛けが赤ちゃんの言葉の発達も促します

# 笑顔がいっぱいの 日赤の乳児院

開設68年の歴史を持つ日赤茨城県支部乳児院。  
ここには全国で唯一、乳児院に特化した奉仕団があります。  
子どもたちの成長に寄り添い、きめ細かい保育を行う  
職員とボランティアの仕事とは――。

明るい日差しが降り注ぐ施設内に、赤ちゃんたちの元気な笑い声や泣き声が響き渡ります。ここは日赤茨城県支部乳児院。

さまざまな事情によって家庭での養育が困難な0歳から3歳未満の乳児たちをお預かりし、みんなでご飯を食べたり、おもちゃ遊びをしたりと、一つ屋根の下で一緒に暮らしています。

乳児院の職員は、遠足や年間行事を通して

季節を感じ、お祝い事を楽しんでもらいたいと、多彩なイベントの企画に力を入れています。七夕やクリスマス、お誕生日会など、皆で協力して盛り上げます。時にはボランティアもイベントをサポート。だから、乳児院を退所する日に渡す成長アルバムには、思い出の写真がたくさん。そこには職員やボランティア、子どもたちの未来の幸せを願う思いが詰まっているのです。



## 普通の家庭生活を知ってほしい

集団生活にならざるを得ない乳児院は一般家庭とは環境が異なります。乳児院によっては「普通のお風呂」に入ったことがなかったり、料理をする大人の姿を見たことがないまま育つ子もいるそうです。そこで同乳児院ではボランティア家庭を募集し、登録したお宅に子どもを連れて行き、家庭生活を体験させる「日曜の家」事業を行っています。また、施設内に建てられた戸建て住宅で、少人数の子どもと職員が過ごす「小規模グループケア」も取り組みの一つです。

一般家庭さながらの施設内の戸建て住宅。職員が子ども一人ひとりと長時間向き合う、きめ細やかな保育が行われています



## 温もりを伝えるボランティア

同乳児院の職員の力強い味方となっているのが、昨年30周年を迎えたボランティアグループ「乳児院奉仕団」(団員数91人/平成30年4月現在)。

毎日3~4人ずつ訪れ、離乳食の食事サポートやおもちゃ遊び、声掛けを通して子どもたちに肌の温もりを伝えるのが、乳児院奉仕団の主な活動です。

子どもたちの性格や発育状況はさまざま。一人一人に合ったコミュニケーションを心掛けています。つらい境遇に生まれた子どもたちが、たくさんの愛情を感じて、人を信じられる大人に育つことがメンバーの願い。優しい笑顔で話しかけ、スキンシップを大切にしています。

「会うたびにできることが増えていくんです」と目を細める、代表の関根正彦さん。子どもたちの成長していく力を感じ、奉仕団のメンバーも笑顔と元気をもらっている様子でした。



奉仕団が関わるのは5カ月~1歳半の乳児。「私たちが赤ちゃんに遊んでもらっているんです」

この春から2人で参加している杉浦さん夫妻。「赤ちゃんが男の自分を怖がらないか心配でしたが」という旦那さんもうすっきり慣れた様子



奉仕団の代表を務める関根正彦さん。離乳食の食事サポートもお手のもの

## 奉仕団が心掛けていること

### 「ポジティブな言葉選び」

子どもの性格はさまざま。中にはいはずらっ子もいますが、奉仕団では決して声を荒らげません。赤ちゃんは大人の言葉を理解しています。だからメンバーが口にするのは「かわいいね」「いい子だね」といったその子を肯定するポジティブな言葉ばかりです。

### 「安全への配慮」

「自分の子育てのときは多少荒っぽいこともしたけど」と笑う関根さん。しかし、相手はお預かりしている子どもたち。抱っこは必ず両腕で支えるなど、安全には細心の注意を払います。

### 「笑顔とあいさつ」

多くのメンバーがローテーションで訪れる奉仕団。子どもたちが安心できるように、笑顔で接し、帰るときには「また来るね」の言葉を大切にしています。

## 日赤の乳児院ってどんなところ？

日赤では社会福祉事業の一環として、全国8施設の乳児院を運営しています。関東大震災や第二次世界大戦後には、多くの被災・戦災孤児を救済する場として、日赤の乳児院が重要な役割を果たしました。

近年では、母親の病気などで一時的に預けられる子どもや、望まない妊娠で産院から直接やってくる赤ちゃん、虐待の通報により入所するケースも少なくありません。しかしどんな理由であれ、大切なのは子どもたちの「いのち」と「尊厳」を守り、健やかな成長を祈って、全ての子に等しく愛を注ぐこと。それが設立以来変わらない、日赤の乳児院の理念です。





# 「西郷どん」と日本赤十字社

激動の明治時代、大河ドラマにも登場する人物と日赤を結ぶエピソードをご紹介します。



上：「博愛社救護所」(制作年・作者不詳)  
西南戦争における博愛社の救護活動は、熊本・長崎・鹿児島・宮崎の各地で行われた



左：「博愛社設立許可の図」(制作年・作者不詳)  
救護団体の結成が許可された様子を描写した油絵。  
おじぎをしているのが佐野常民



元老院議員の集合写真。  
有栖川熾仁親王(前列中央)、大給恒(前列右から2人目)、佐野常民(中央列左から4人目)

## 西南戦争から始まった日赤の歴史

佐賀藩主の命を受けて、1867年(慶応3年)にパリ万博へ派遣された佐野常民。万博で欧州各国の赤十字活動を目の当たりにした佐野は、赤十字の思想こそが真の文明開化だと確信しました。明治10年、西郷隆盛率いる軍が明治政府に反乱を起こし、西南戦争が勃発。戦地熊本で多くの戦死者・負傷者を出していた激戦の最中、佐野は<sup>おぎゅうゆうずる</sup>大給恒とともに時の右大臣、岩倉具視へ日赤の前身である「博愛社」設立の請願書を提出します。岩倉は当時陸軍卿代理を務める西郷従道へ博愛社設立について照会したところ、その考えは素晴らしいが戦争中の結社は難しいと従道が回答し、結局、請願は明治政府から却下されてしまいます。

## 有栖川宮殿下から博愛社設立の許可を受ける

博愛社設立を急いだ佐野は、意を決して熊本に赴き、明治10年5月1日、直接、新政府軍の征討総督である有栖川宮熾仁親王に請願書を提出します。有栖川宮熾仁親王は、英断をもって博愛社の活動を許可され、佐野は救護活動を直ちに開始しました。敵味方を区別することなく助け、敵の負傷者にも手厚い看護を行う博愛社の活動は、当時の人々を驚かせました。

明治19年11月15日、日本政府がジュネーブ条約に参加し、翌年5月20日、博愛社は「日本赤十字社」と改称しました。

### 日赤創設者

つねたみ  
佐野常民  
(1822-1902)

佐賀藩士であり医師、日本初の蒸気船製造などの技術統括。欧州で見聞を広めた後、明治政府の主要人物の1人として日本の近代化に寄与し、元老院議員となる。大給恒とともに博愛社設立に尽力した。



### 交流



つぐみち  
西郷従道  
(1843-1902)

西郷隆盛の実弟。隆盛が下野した後も明治政府に残り、西南戦争中は陸軍卿・山縣有朋の代理を務めた。のちに博愛社正社員となる。

### 兄弟

西郷隆盛  
(1828-1877)

薩摩藩の下級武士から明治維新の立役者へ。討幕派のリーダーとして新政府の礎を築いた。

### 適塾

### 同志

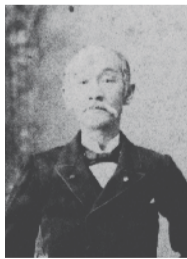
さない  
橋本左内  
(1834-1859)

越前福井藩士。医者の家系に生まれ、緒方洪庵の適塾に学んだ蘭方医。江戸に出て西洋の学問を広く学んだ。学んだ時期は異なるが適塾では常民の1年後輩にあたる。



国立国会図書館所蔵

### 兄弟



日赤医療センター  
初代院長

つなつね  
橋本綱常  
(1845-1909)

橋本左内の実弟。元陸軍軍医総監で、博愛社病院(現・日赤医療センター)初代院長。大隈重信の右足切断手術に立ち会う。後にホルマリン漬けにされた大隈の右足は日赤医療センターで一時的保管されていた。

## 日赤の歴史的資料を展示 赤十字情報プラザ

日本赤十字社本社(東京都港区)1階にある赤十字情報プラザでは、博愛社設立の請願書をはじめ、西南戦争の救護報告書ほか、さまざまな貴重な史料を展示しています。

開館時間：月～金曜日 9時30分～17時  
休館日：土・日、祝日、5月1日(日赤創立記念日)

●「明治150年記念」写真パネル展 期間：11月1日(木)～30日(金)  
明治期に建築された日赤社屋や各支部病院のほか、病院船や病院列車の写真を展示！



日本赤十字社の旧社屋。横浜赤レンガ倉庫などを手掛けた明治建築界の巨匠、妻木頼黄(よりなか)が設計



# NHK 海外たすけあい | 12.1 (Sat) ~ 25 (Tue)

## 気軽に寄付ショッピング! 「Donashop」が开店

ドネーショopp

寄付(ドネーション)ができるお店(ショップ) = ドネーショップが、期間限定で東京駅近くの丸の内KITTE(キッテ)内にオープン。水や毛布、医薬品など、難民に必要な物資を実際に手にとって、買い物をするようにレジで寄付ができます。

生きるために住み慣れた土地を離れて、困難な暮らしを強いられている6850万人\*の難民。彼らを支える赤十字の活動に「寄付」という形で参加していただきたい。そんな思いを伝えるべく、日赤職員がドネーショップでお待ちしております。

\*2018年6月UNHCR発表



実際の支援物資を展示し、皆さまの寄付で“できること”を見える形にしました。  
※画像はイメージです

寄付したいと思えるアイテムが見つかったら、この「アイテムカード」を持って、レジへ!



### リアルで体験

#### Donashop

【寄付方法】共感した支援物資を見つけたら、そのアイテムカードをレジカウンターへ持って行き、寄付金を支払う。金額はお気持ちで結構です。

開催：11月29日(木)・30日(金) 11:00 ~ 19:00

場所：東京・丸の内、KITTE (キッテ) 1階イベントスペース  
東京都千代田区丸の内二丁目7番2号  
JR東京駅より徒歩約1分

### Webで検索

#### Donashopサイト

【寄付方法】支援物資画像をクリックしたら寄付ページにジャンプ!まるでネットショッピングをするかのように、金額の書かれた支援物資画像をクリックすると寄付ができる仕組みです。

公開：12月25日(火)まで

日赤 ドネーショップ

検索



## 『歩く。Stand Alone』篇(90秒) キャンペーン動画が完成!



原ソシエ 旅立つ



「NHK海外たすけあい」への寄付によって支えられる、海外での救援・支援活動。その活動の一部を紹介する動画が完成しました。海外で活動を続ける日赤職員の、葛藤や決意が90秒の短い動画の中に熱く描かれています。BGMは、小山薫堂さん作詞、久石譲さんが作曲した「Stand Alone」。NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の主題歌として

たくさんの感動を呼んだ楽曲ですが、強い気持ちで希望の光を見つめる人を応援するような歌詞の内容に勇気づけられます。民放BS局で放映しますので、ぜひご覧ください。



動画はYouTubeと「つづけるサイト」でご覧いただけます。

日赤 2018 歩く

検索

つづけるサイト jrc-tsudukeru.jp

※YouTubeは11月下旬公開



## NHK 海外たすけあい テレビ番組・イベント情報



キャンペーンポスター

### ●イベント

#### 「赤十字シンポジウム」

11月3日(土・祝) 14:00 ~ 16:00

《会場：東京・表参道ヒルズ「スペース オー」》

※「NHK海外たすけあい」関連イベント(1987年から毎年開催)

### ●特別番組

#### ①「TVシンポジウム」(Eテレ)

12月1日(土) 14:00 ~ 14:59

「赤十字シンポジウム」を放送予定

#### ②「あなたのやさしさを」(NHK総合)

12月2日(日) 16:50 ~ 17:00 他 再放送予定あり

#### ③「はじっこ革命」(NHK総合)

12月21日(金) 22:00 ~ 22:54 ※生放送

# AREA NEWS

全国各地、あなたの生活のすぐそばで、日本赤十字社の活動は行われています。

## 京都府

### 職員1人1人の努力で育てた「信頼」ふるさと企業大賞(総務大臣賞)を受賞

京都第一赤十字病院が、平成30年度ふるさと企業大賞(総務大臣賞)を受賞。この賞は、地域振興に貢献している民間事業者に与えられるものです。ドクターヘリをはじめとする救急患者の受け入れ体制や、全国屈指の内視鏡によるがん治療、府内唯一の基幹災害拠点病院として地域の防災力向上への支援など、昭和9年の開設以来、地域の中核を担う同院の多岐にわたる取り組みが評価されました。



長年にわたる地域医療の中核を担い、信頼を獲得

## 富山県

### 赤十字の基本原則を生け花に込めて…「細やかなケア」や「優しさ」を表現

富山赤十字看護専門学校では9月14・15日、「次世代につなぐ赤十字のこころ」をテーマに掲げた学校祭を開催。赤十字の基本原則を盛り込んださまざまなイベントを実施し、日頃の学習成果を発表しました。注目を集めたのは7原則を生け花で表現した展示。「人道」を表現した作品は、赤いアンスリウムを「患者」、割いたニューサイランで「細やかなケア」、スプレー菊で「優しさ」を表現しました。



赤十字カラーの赤いアンスリウムを使用(「人道」は左から4番目)

## 近畿

### “小さな命を一緒に守ろう!” 幼児安全法講習の人形「ジャミー君(通称)」を寄贈

「ジャミー君」は、設定を身長約105cmの4歳児の体形にした幼児型の人形。幼児蘇生法のトレーニングで使用します。日赤は全国で、子どもの成長や発達に際した事故予防と病気の看病について、「幼児安全法講習」を開催し、応急手当てや救命手当ての技術指導を行っています。「ジャミー君」は人工呼吸や心臓マッサージ、異物除去など実践的な技術の習得に活用されています。



寄贈された幼児モデル「ジャミー君(正式名称:JAMY II-1)」

この度、「ジャミー君」30体が、近畿2府4県の日赤各支部に寄贈されることが決定し、9月22日に寄贈式が行われました。全国社会保険労務士会連合会近畿地域協議会(飯田政信会長)からの寄贈品で、社会全体で子どもを守る一助になれば、との思いが込められています。寄贈された「ジャミー君」は、各支部で開催されている「幼児安全法講習」の訓練用人形として使用されます。



社会保険労務士法の制度創設50周年の記念行事として寄贈が決定

## 全国

### お誕生日を記念し600本の手拭い 美智子さまから“平成最後”の御下賜

10月20日は日本赤十字社の名誉総裁・皇后陛下のお誕生日です。毎年、日赤に600本の日本手拭いの御下賜があり、全国の日赤の介護老人保健施設や特別養護老人ホームの入所者などにお配りしています。

手拭いの御下賜の歴史は古く、始まったのは昭和24年。手拭いの絵柄は、折り鶴、麦穂、紙風船と移り変わり、今年で63回目を数えます。

手拭いが届いた特別養護老人ホーム「錦江園」(鹿児島県)では、10月3日に誕生日を迎えたばかりの岩下シカさん(84歳・写真左)が「よい記念になります。部屋に飾ります」とにっこり。また、吉留タエさん(97歳・同右)も、来年4月30日に予定されている天皇陛下の退位にも触れ「とてもうれしいです。美智子さまからいただけるのは最後になりますね」と感慨深げでした。



手拭いを受け取った入居者の顔には笑みがこぼれた



今回の手拭いの絵柄は4年前から採用された紙風船

## 神奈川県

### 「ライフジャケット、正しく着けなきゃ!」水の事故から命を守る教室を開催

9月20日に日赤神奈川県支部は、鎌倉市立腰越小学校で5、6年生を対象に水上安全法短期講習を開催。今年2月の法改正でライフジャケットの義務範囲が拡大されたことから、アウトドアアパレルブランドのヘリーハンセンと初めてタイアップし、着用の啓発と適正利用を呼びかけました。水辺の危険と事故防止を考えるグループワークでは、子どもたち自身が危険な場所について話し合いました。



海の近くで暮らす子どもたち。楽しみながら積極的に参加した

## 新潟県

### ショッピングモール内で顧客満足度、1位! 笑顔があふれる献血ルーム

ショッピングモール「リバーサイド千秋」内にある、新潟県赤十字血液センターの「献血ルーム千秋」が、100店舗以上が参加した顧客満足度向上キャンペーンで部門1位を獲得。利用者の投票によるもので、「どのスタッフも常に笑顔で丁寧な接客をしてくれるので気持ちがいいです」「あいさつがさわやかで、いつ行っても優しい雰囲気」といった声が届きました。



「これからも愛される献血ルームづくりに取り組みます」とスタッフ

## 青森県

### 支部創立130周年の記念大会を開催 赤十字運動の広がりを目指して

9月12日、日赤青森県支部創立130周年を記念した青森県赤十字大会を開催しました。会場には名誉副総裁・秋篠宮妃殿下がご臨席され、各地で発生している地震や豪雨などの被害に触れながら、赤十字運動の輪が広がっていくことを願うお言葉が贈られました。また奉仕団や青少年赤十字メンバーが、防災訓練の大切さや障害者との交流など、日頃の活動について発表しました。



式典でお言葉を述べられた秋篠宮妃殿下

「知って良かった!健康豆知識」は切り取って保存していただけます

日赤のドクター&ナースが教える 知って良かった!

## 健康豆知識



### 毎日続く「肩こり」効果的な解消法とは!?

file. 50

日本赤十字社熊本健康管理センター 健康支援課 運動指導係長 健康運動指導士 鶴田 祐一郎 (つるとの ゆういちろう) 熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1-1 TEL 096-384-3100

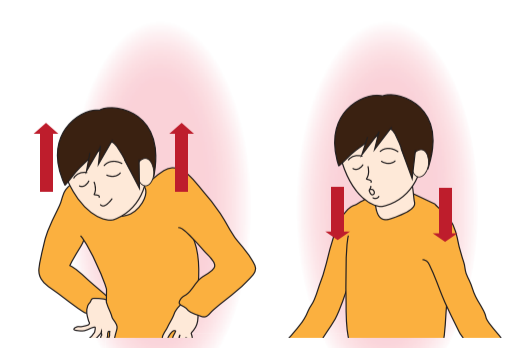
大きな病気ではないけれど、長引くとつらい「肩こり」。秋冬は気温が下がり、熱を逃がさないように体が縮こまって血流が悪くなるため、肩こりになりやすい季節。また、運動不足・睡眠不足・ストレスなども、血流が悪くなるので肩こりを進行させる原因になります。

肩こりの改善には、肩から背中(肩甲骨まわり)を中心に“緊張”と“脱力”を交互に行う「筋弛緩法」がオススメ。その効能は①こわばった筋肉が緩む②血流が良くなって細胞に酸素が行き渡り熱が生み出されるため入浴に近い温熱効果がある③自律神経を整える…など。自律神経は、心臓を動かして血液を循環させるほか、消化・体温調節・睡眠など全身の機能をコントロール

しています。肩こり解消だけでなく毎日を健康に過ごすためには、自律神経の働きを整えることも大切です。

【筋弛緩法】下記のA→Bを何度か繰り返すだけ! (A)力をいっぱい入れて肩を上げ、7秒キープ (B)一気に脱力し、力がゼロの状態10秒数える

なお、肩の片方だけ、あるいは部分的に、重い痛みがあり、気分もすぐれない場合は、狭心症、肺の腫瘍など、別の病気が原因となっている可能性もあります。気になる肩こりは整形外科に相談しましょう。診断によっては内科や脳神経科の受診を勧められる可能性も。肩こり程度で…と甘く見ず、痛みの見極めも大切です。



脱力時は、全身から力が抜けてリラックスできるように意識することで、自律神経の1つである副交感神経の働きが高まり、全身の血流も良くなる

## 平成30年北海道胆振東部地震災害 義援金、受け付け中

平成30年9月6日に発生した北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度7の地震により、北海道に大きな被害が出ました。この災害で被災された方々を支援するため、下記のとおり義援金を受け付けております。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

- 義援金名称: 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金
■受付期間: 平成31年3月31日(日)まで
■協力方法:

- [1] 郵便振替によるご協力 (ゆうちょ銀行・郵便局)
口座記号番号 00130-1-673591
口座加入者名 日赤平成30年北海道胆振東部地震災害義援金
※ゆうちょ銀行の振込用紙の半券を受領証の代わりとして、寄附金控除の申請にお使いいただけます
※窓口でのお振り込みの場合は、振込手数料が免除されます(ATMによる通常振り込みおよびゆうちょダイレクトをご利用の場合は、所定の振込手数料がかかります)
[2] 銀行振り込みによるご協力
①三井住友銀行 すずらん支店 普通 2787533
②三菱UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105541
③みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0620413
※口座名義は必ずしも「日本赤十字社(ニホンセキジユウジヤ)」
※銀行振り込みの際の利用明細書を受領証の代わりとして、寄附金控除の申請にお使いいただけます
※ご利用の金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります

- [3] 北海道支部でも受け付けています。

日本赤十字社 平成30年北海道胆振東部地震災害 義援金 検索 (11月1日現在)

http://www.jrc.or.jp/contribute/help/308/



お寄せいただいた義援金は、被災地に設置された義援金配分委員会を通じ、全額を被災者にお届けいたします。



## 常任理事会開催報告

平成30年10月19日、本社において平成30年度第6回の常任理事会が開催されました。

今回の常任理事会では、付議事項はありませんでしたが、赤十字病院の現状と課題への対応、幼稚園・保育所向けの防災教育の取り組み、インドネシア・スラウェシ島地震・津波災害にかかる日本赤十字社の対応および予算の補正にかかる社長専決事項について、それぞれ報告しました。

本誌2018年10月号、エリアニュース「福島県支部」の記事において、見出しに誤りがございました。正しくは「福島に来てね!」感謝を込めて子どもたちを招待]です。謹んでお詫言申し上げ、ここに訂正いたします。

## present プレゼント

大阪の味本舗 大阪下町の味 お好み焼せんべえ (30枚入り)

10名さまに

寄付金付き商品



さくさくした生地と本物の素材を味わえる大阪土産にも人気の商品。この売上げの一部が日本赤十字社の活動資金に寄付されます。

日本赤十字社 売上げの一部は日本赤十字社の活動資金として寄付されます。

製品パッケージ側面に記載されている赤十字マーク

寄付金付きは25商品。インターネットでも購入できます。「大阪の味本舗」で検索! (寄付金付きはパッケージ正面に赤十字マークが記載されています)

希望者は、以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールでご応募ください。

- ①お名前(匿名をご希望の方は、その旨もご記入ください)
②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢
⑤赤十字NEWS11月号を手にした場所(例/献血ルーム)
⑥11月号で良かった記事、興味深かった記事はどれですか?
(いくつでも)
A.表紙 B.笑顔がいっぱいの日赤乳児院
C.「西郷どん」と日本赤十字社
D.NHK海外たすけあい
E.エリアニュース
F.健康豆知識 G.プレゼント
H.ワールドニュース
⑦赤十字NEWSのご感想、扱ってほしいテーマ、その他 Voice(読者の声)への投稿もお待ちしております。

郵送/〒105-8521

東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社 広報室 赤十字NEWS11月号プレゼント係 FAX/03-6679-0785 メール/koho@jrc.or.jp (件名「赤十字NEWS11月号プレゼント係」) 11月30日(金)必着 ※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます

# WORLD NEWS

インドネシア・スラウェシ島地震



家屋が海にのみ込まれ、途方に暮れる漁師たち

## 死者・行方不明者は2700人以上 大地震・津波・土砂崩れで、多くの家族が離れ離れに…

### 地割れ、液状化で被害が拡大 村が丸ごと沼底に沈んだ地域も

9月28日、インドネシアのスラウェシ島で巨大地震が発生しました。マグニチュードは7.5で、震源に近いバルなどの市街地では多くの建物が倒壊。病院やショッピングセンター、空港などが壊滅的な被害を受けました。インドネシア国家防災庁の発表によると、10月16日までに死者は2105人、行方不明者は680人以上、避難生活者は22万人以上にも上っています。また、地震による家屋の倒壊だけでなく、津波や地割れ、沿岸部集落の海への崩落といった被害も発生しており、地盤の液状化によって村が丸ごと沼にのみ込まれたという報告もされています。そんな状況の中、インドネシア赤十字社には地震発生直後から500人を超えるボランティアが集まり、対策チームとともに被災地で活動を行っています。

スラウェシ島中央部のドンガラ県では、沿岸にある30軒以上の家屋が一瞬にして海に

崩落しました。地震発生時、多くの男性は働きに出ている時間帯だったため、海への崩落に巻き込まれたのは、家に残っていた女性や子どもたち。残された住民たちは、家が建っていたはずの海辺に集まり、行方不明となった家族や親類を捜索。ある漁師の男性は、毎日海へ降り妻を捜していました。赤十字ボランティアは彼に寄り添い、抑えきれない嘆きに耳を傾けていました。

### 目の前で母親が地割れに落ちて…

インドネシア赤十字社の医療チームは被災地で巡回診療も実施しています。巡回場所となった教会で出会った女の子・ヴェシヤちゃん(8歳)は、地震から逃れるため母親と一緒に高台へ避難。しかし、その途中で母親が地割れの間落ちてしまったといいます。ヴェシヤちゃんは周りの大人と一緒に逃げる事ができましたが、ほかの家族とも会えないまま3日間を過ごしました。インドネシア赤十字社のボランティアは、地割れに消え

た母親を助けられなかったことにショックを受けているヴェシヤちゃんを励まし続けました。

日本赤十字社は地震翌日に職員を緊急派遣し、同時に救援金の受付を開始しました。また医療指導や助言にあたる医師と看護師を現地に派遣し、インドネシア赤十字社の活動を支援しています。



被災者に寄り添って抱きしめるインドネシア赤十字社のボランティア(スラウェシ島・バルにて)

## 2018年インドネシア・スラウェシ島地震 救援金受け付け中

大地震発生、入り江の街を襲った津波や大規模な液状化現象で被害が拡大

インドネシア中部のスラウェシ島では、2018年9月28日にマグニチュード7.5の地震が発生。建物の崩落や津波により、死者・行方不明者あわせて2700人以上に上っています(10月16日現在、インドネシア国家防災庁の発表)。なお、被災地の交通と通信が寸断されており、被害の全容はつかめておらず、さらに拡大する見通しです。

この事態に対し、日本赤十字社は下記のとおり救援金の受付を開始いたしました。ご寄付いただいた救援金は、インドネシア赤十字社のスタッフやボランティアによる負傷者の救助活動、被災者への食料や水などの救援物資の配布、家屋修理資材など住宅再建の支援等に充てられます。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

■義援金名称：2018年インドネシア・スラウェシ島地震救援金

■受付期間：平成30年11月30日(金)まで

■協力方法：

[1] 郵便振替によるご協力(ゆうちょ銀行・郵便局)

口座記号番号 00110-2-5606

口座加入者名 日本赤十字社

※窓口でのお振り込みの場合は、振込手数料が免除されます

(ATMによる通常振り込みおよびゆうちょダイレクトをご利用の場合は、所定の振込手数料がかかります)

[2] 銀行振り込みによるご協力

①三井住友銀行 すずらん支店 普通 2787667

②三菱UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105692

③みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0623501

※口座名義はいずれも「日本赤十字社(ニホンセキジウジヤ)」

※ご利用の金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります

[3] クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easyによるご協力

詳細は日赤のウェブサイトをご覧ください。



日本赤十字社 救援金 2018年インドネシア・スラウェシ島地震

検索